

平成 28 年度第 2 回 ISO/TC46/SC4 国内委員会議事録

1. 日時：平成 27 年 1 月 18 日（水） 10:00～11:00

2. 場所：文京シビックセンター 3 階 会議室 C

3. 出席者：

委員	安形輝	亜細亜大学（SC4 リーダ）
	宮澤彰	国立情報学研究所名誉教授
	五十嵐健一	慶應義塾大学
	大向一輝	国立情報学研究所
	大場高志	公益社団法人日本図書館協会
	長田孝治	株式会社ロゴヴィスタ
	木村麻衣子	慶應義塾大学
	小島裕一	株式会社リコー
	橋詰秋子	国立国会図書館
	中野茂	大日本印刷株式会社
事務局	光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料：

資料 1-1-1: WG1 報告(2016-12-12)

資料 1-1-2: ISO TC46/SC9 PreWDversion03

資料 1-2-1: WG2 報告(2016-12-12)

資料 1-2-2: 平成 28 年度第 1 回 ISO/TC46 WG2 委員会記録

資料 1-2-3: ISO TC46/SC9/WG13, N924 ISO/WD20247

資料 2: 平成 28 年度 ISO/TC46/SC4 投票済案件(平成 28 年 4 月 1 日～)

資料 3: デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化成果報告書案

資料 4-1: ISO/TC46 Meeting calendar

資料 4-2: プレトリア航空運賃

5. 議題：

5-1) 前回議事録確認と今回の議事録の作成者

前回の議事録を確認した。

5-2) 平成 28 年度計画進捗状況報告

TC46 の主要な活動である WG1 と WG2 についての進捗状況の報告が以下のようなされた。

5-2-1) デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化

資料 1-1-1, 1-1-2 に基づき, WG1 の活動の進捗状況について宮澤委員から報告がなされた。2017 年 1 月 29 日に投票が終了する予定であり, 原案が支持される見通しであること, 投票終了後の予定について説明された。

5-2-2) デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子

資料 1-2-1, 1-2-2, 1-2-3 に基づき, WG2 の活動の進捗状況について宮澤委員から報告がなされた。コメントを多く出したフィンランドとの協議が終了したが, ISO の SC9 事務局による手続きの遅延のため, 当初予定よりも DIS 投票完了が遅れる見通しであることが報告された。

5-3) デジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備

安形リーダーより, ISO/TC46 国内委員会の活動内容およびその中での SC4 の活動領域について説明があった。また, 今後の活動について検討がなされた。委員より, 国立国会図書館におけるデジタルアーカイブ関連のアプリケーションプロファイルの状況について説明があり, 新規標準化提案の候補として, 資料のタイプ語彙に関する標準化という案が出された。今後引き続き検討を進めることとなった。

5-4) ISO/TC46/SC4 投票済案件

資料 2 に基づき, ISO/TC46/SC4 の今年度の投票済み案件が報告された。事務局より, ISO/NP 15836-2 の質問 4 にかかる回答(日本から専門家を出すことについて)の確認があり, 委員より, 本件は DC Terms

を ISO の形式に合わせて手続きをするためのプロジェクトであるので、専門家を出さなくてもよいとの結論が出ている旨の報告があった。また、現在審議中の案件はないことが確認された。

5-5) 平成 28 年度成果報告書について

資料 3 に基づき、今年度の成果報告書について安形リーダーより報告がなされた。成果報告書は、安形リーダーが執筆することが確認された。

5-6) TC46 プレトリア総会について

宮澤委員が参加予定であることが確認された。宮澤委員より、WG1 については、複数の専門家がプレトリア総会に参加するのであれば、会議を開催したい旨の説明があった。

以上